

「情報ナビに関する意識調査」結果報告

平成 24 年 11 月

1. 調査概要

男女共同参画推進室では科学技術振興調整費・女性研究者支援モデル育成事業（現 女性研究者研究活動支援事業（女性研究者支援モデル育成））「つがるネッサンス！地域でつなぐ女性人才」の採択を受け、教職員のワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組みの一環として、妊娠・出産から育児、介護に係る休暇、休業等の制度や手続き及び地域の情報等を掲載した、「教職員のための制度・手続等情報ナビ」（呼称「情報ナビ」）を平成 23 年 11 月に Web で公開した。今後より使いやすい情報ナビとするため、現状や要望等について「情報ナビに関する意識調査」を実施した。

調査対象者は、学内メールアドレスを所持する教職員（契約職員、パートタイム職員含む）2,894 名である。回答方法は Web によるものとし、7 月 24 日にアンケートを一斉送信し、8 月 21 日までに回収を行った。有効回答数は 494 名で、有効回収率は 17%であった。

以下に、調査結果を報告する。なお、各項目についての「無回答」は、分析の対象から除外した。

2. 調査結果

(1) 所属部署

回答者の所属部署を見ると、「事務局」が 115 名（23%）で最も多く、次いで、「医学研究科」66 名（13%）、「医学部附属病院」62 名（13%）、「教育学部」54 名（11%）、「理工学部」47 名（10%）の順となっている。

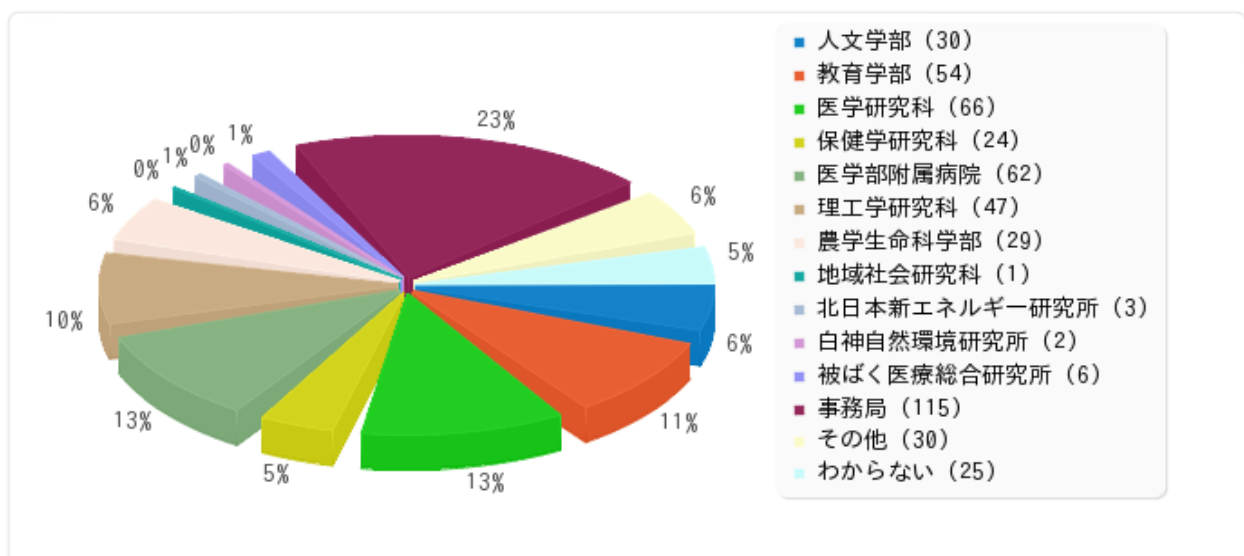


図 1 回答者の所属部署（内訳のカッコ内は実数。以下同じ）

(2) 雇用形態

回答者の雇用形態を見ると「常勤」が345名（74%）、「非常勤」職員（契約やパートタイムの職員）が124名（26%）で「常勤」職員が圧倒的に多かった。

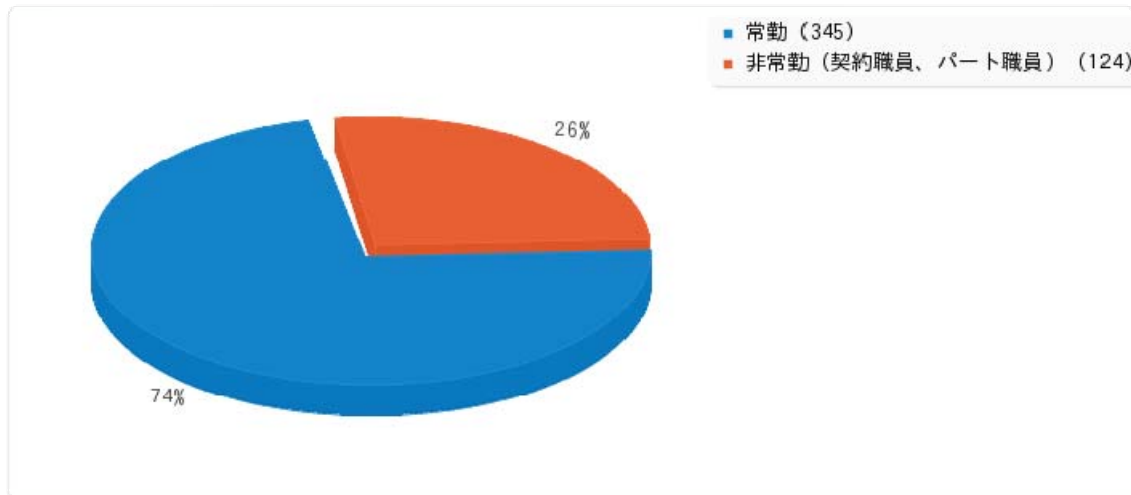


図2 回答者の雇用形態

(3) 職種

回答者の職種を見てみると、「教員」が158名（34%）、「教員以外の職員」が310名（66%）、「わからない」が1名で、「教員以外の職員」が「教員」の約2倍となっている。

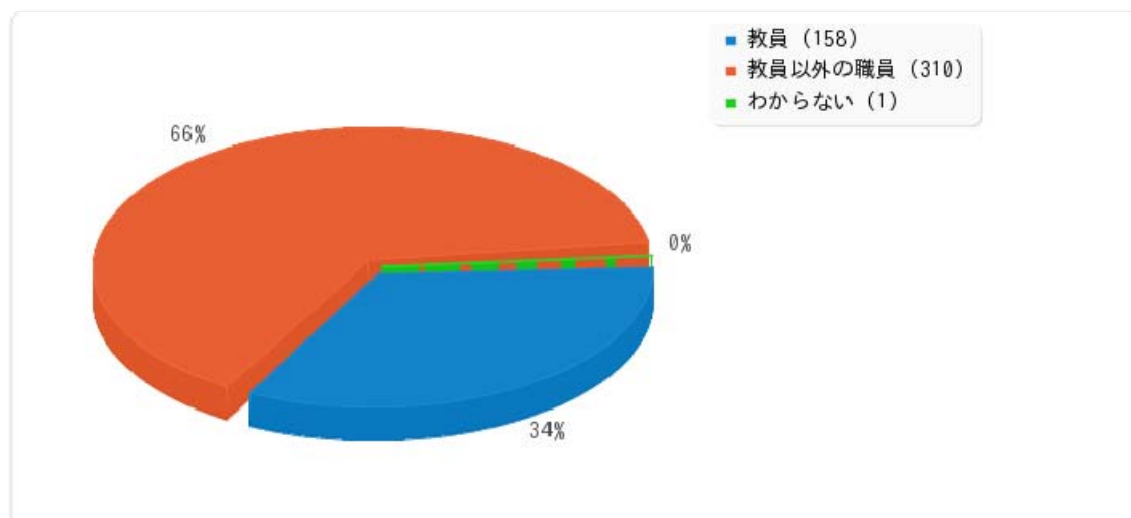


図3 回答者の職種

(4) 専門分野

「教員」 158名の専門分野をしてみると、「理系」が99名（63%）、「文系」41名（26%）、「どちらともいえない」が18名（11%）で、「理系」が回答者の半数以上を占めている。

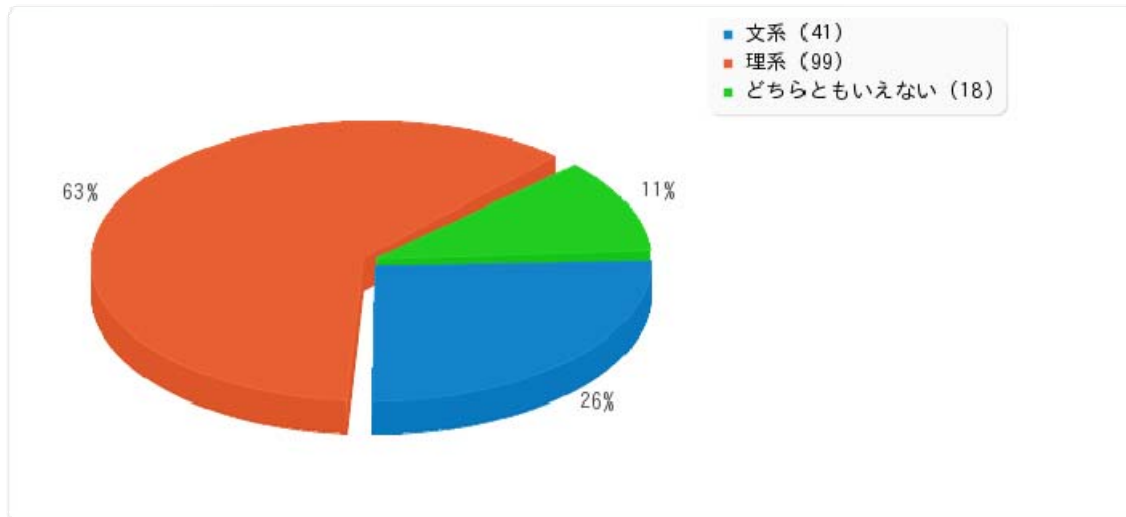


図4 回答した教員の専門分野

(5) 年齢

回答者の年齢構成をみると、「29歳以下」が63名（13%）、「30～39歳」が158名（34%）、「40～49歳」が117名（25%）、「50～59歳」が107名（23%）、「60歳以上」が23名（5%）で30代が最も多く、40代、50代はほぼ同数である。

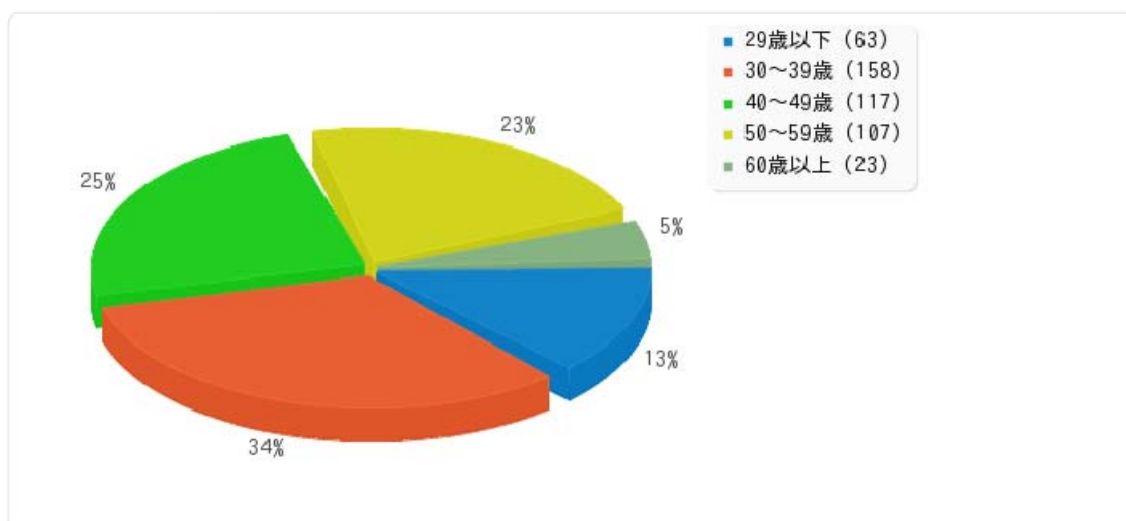


図5 回答者の年齢

(6) 男女共同参画推進室ホームページへのアクセス状況

男女共同参画推進室のホームページへのアクセス状況について尋ねた。アクセス頻度を見ると、「アクセスしたことがない」が237人（51%）で回答者の半数を超える。アクセスしたことがある225名では、「知りたいこと・必要がある時だけ」が197名（43%）、「月に1～2日程度」が18名（4%）、「週に3～4日程度」が5名（1%）の順となっている。

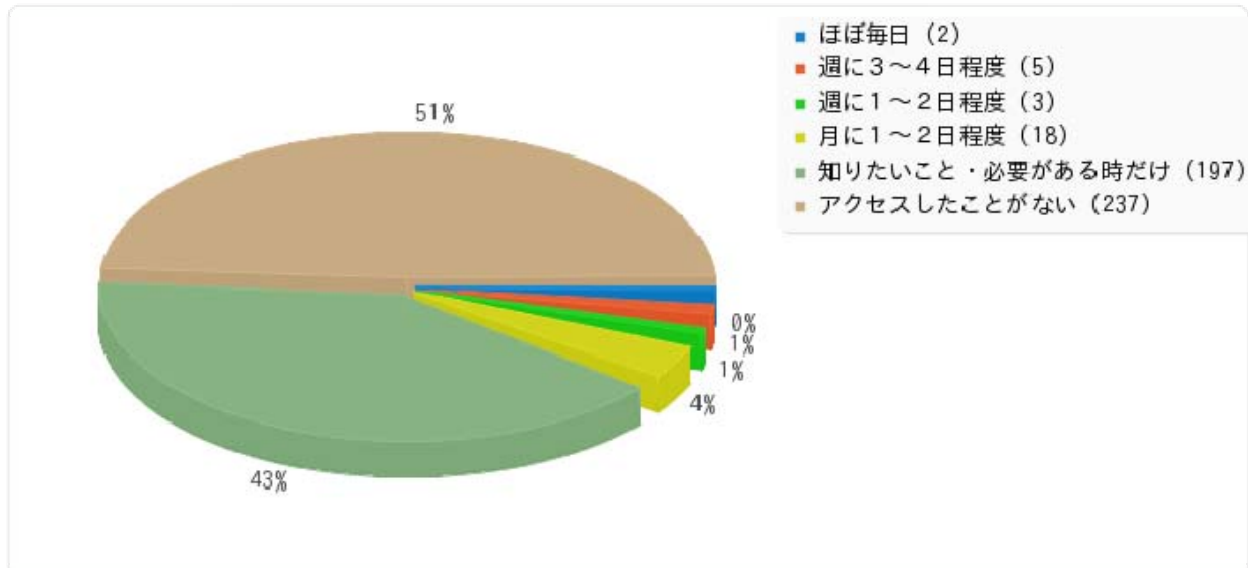


図6 男女共同参画推進室ホームページへのアクセス件数

(7) 男女共同参画推進室ホームページのアクセス目的

男女共同参画推進室ホームページへアクセスした人の目的について複数回答で尋ねた。多い順に見ると、「イベント情報を知るため」が109名、「男女共同参画推進室の概要を知るため」が91名、「研究者支援情報を知るため」が32名、「教員・研究者に関するデータを収集するため」が26名、「男女共同参画に関する理念、宣言を知るため」が22名となっている。「その他」の自由記述では、とくに目的がないと記述したもの以外の内容を見ると、記述した者の半数以上が出産や育児・介護に関する休暇等の制度や手続きに関して確認等のためと書いている。これらについてはホームページの充実を図るうえで大いに注視すべきことと思われる。

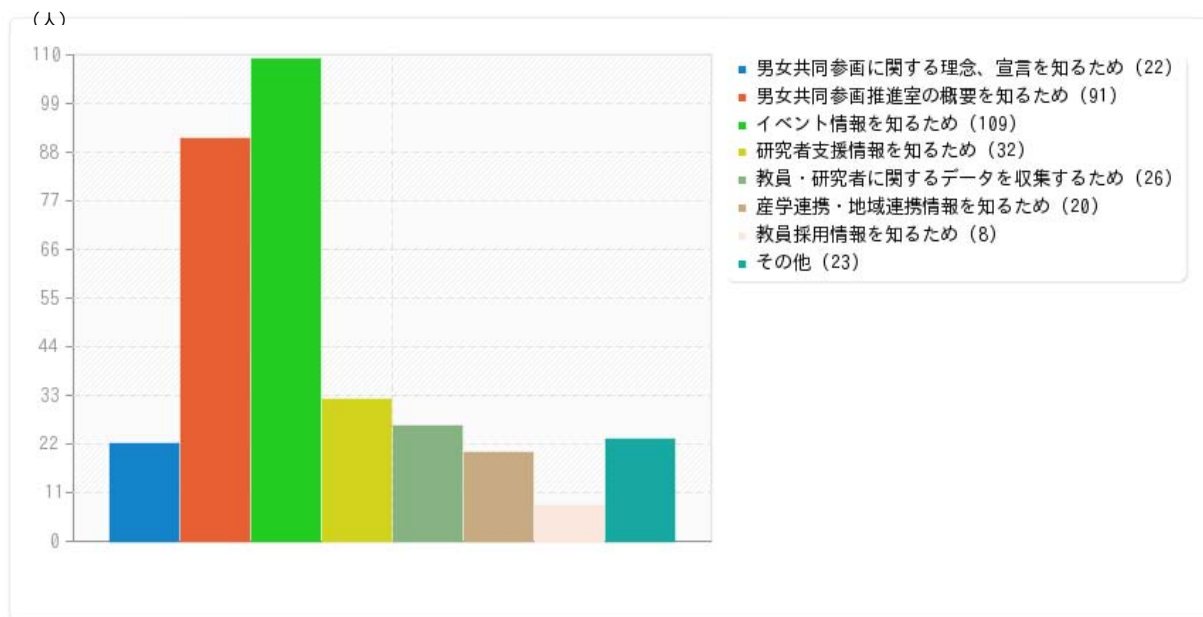


図7 男女共同参画推進室ホームページへのアクセス目的

(7) 「その他」 ホームページへのアクセス目的についての自由記述

- ・ 業務遂行に必要な情報を得るため。
- ・ サイトを管理するため。
- ・ 育児休暇等の情報を確かめるためにアクセスしました。
- ・ たまたまです メールが来たのでクリックしたという程度。
- ・ 業務のため。
- ・ 産休、育休などについて知るため。
- ・ 出産、介護に関する制度の確認。
- ・ 男女共同参画推進室の委員のお願いを受けたとき、どのような業務を行っているのか知りたかったため。
- ・ 出産・育児に関する情報を得るため。
- ・ HPの作り方や、全体の活動の状況を把握するため。
- ・ 子育てに関する制度の確認のため。
- ・ 目的は無い。
- ・ 介護休暇などの制度や手続きを知るため。
- ・ 特別休暇等の制度の確認のため。
- ・ 新しい情報など。
- ・ Webサーバの動作状況を確認するため。
- ・ 育休や産休に関する説明を確認するため。
- ・ さんかくつうしんを見るため。
- ・ 仕事で必要な時など。

(8) 情報ナビの認知度

情報ナビがWeb公開されたことの認知度について見てみると、「知っている」が100名（22%）、「知らない」が349名（78%）となっており、情報ナビの存在がまだ十分に浸透していないことが確認された。

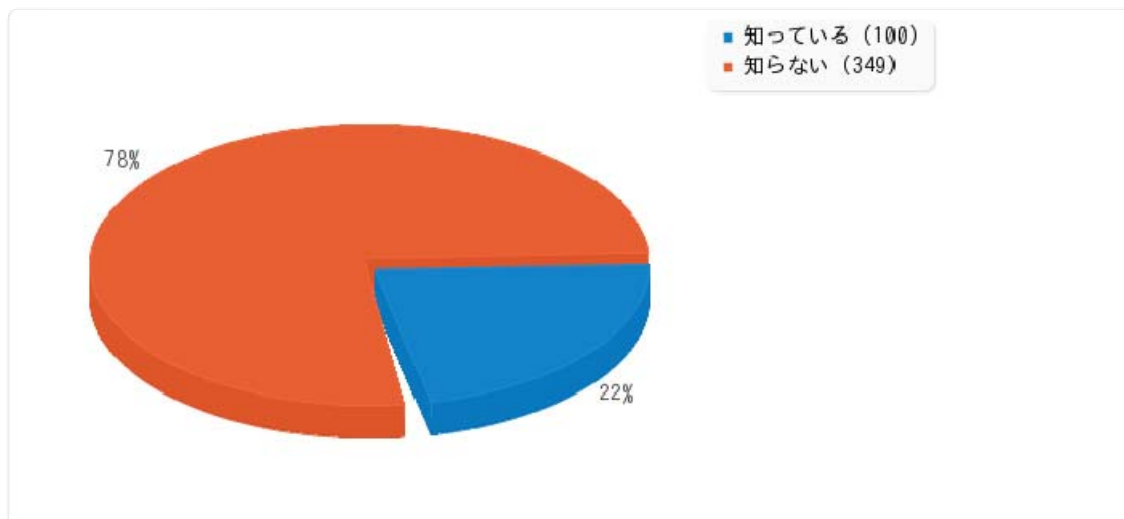


図8 情報ナビの認知度

(9) 情報ナビへのアクセス状況

情報ナビのWeb公開を知っている人を対象に、アクセス状況をまとめると次のようになる。「知っているが、アクセスしたことがない」が45名（45%）である。アクセスしたことがある人については、「知りたいこと・必要がある時だけ」が49名（49%）、この他に「月に1～2日程度」が6名（6%）となっていた。情報ナビを「知っている」にもかかわらず、「アクセスしたことがない」人が半数近い割合となっていることには注視すべきである。

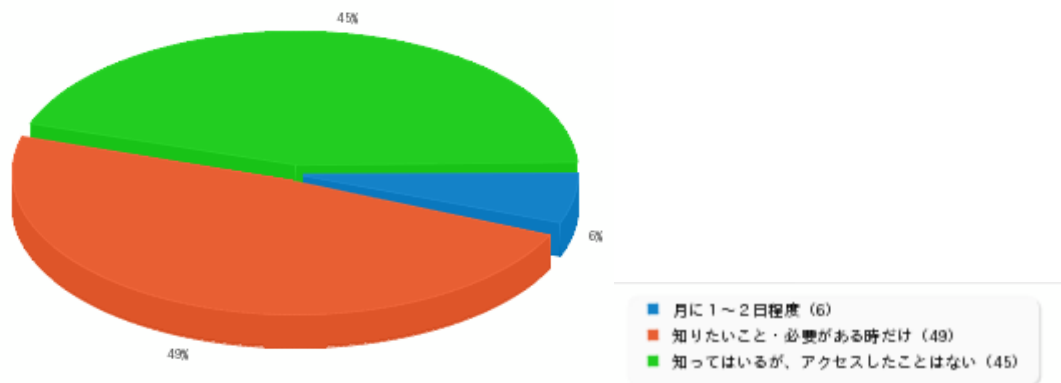


図9 情報ナビへのアクセス状況

(10) 情報ナビの使いやすさ

情報ナビにアクセスしたことがある人に、使いやすさについて尋ねた。「とても使いやすい」が5名(9%)、「使いやすい」が41名(75%)、「少し使いにくい」が9名(16%)となっている。総合的に見て、「使いやすい」と認識している人が80%以上いることが確認された。

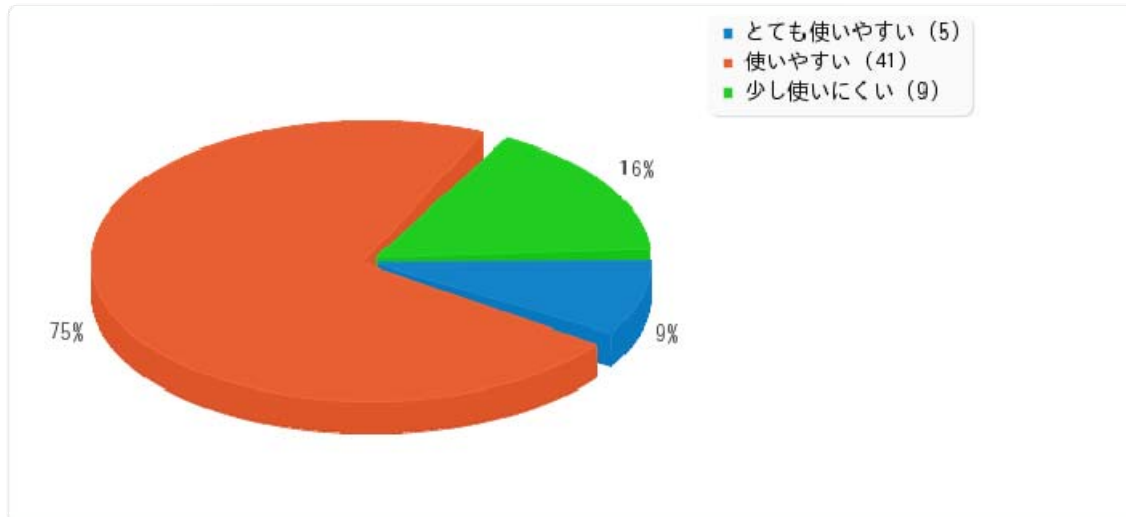


図 10 情報ナビの使いやすさ

(11) 情報ナビが使いにくい理由

情報ナビは使いにくいと回答したその理由について尋ねた。「どこから情報にたどり着けばよいかわからない」が4名、「情報が少ない」が4名、「情報が多すぎる」が1名であった。

(12) 有用性

情報ナビにアクセスしたことがある人に、役立ったかどうかを尋ねた。「とても役に立った」が 5 名 (9%)、「役に立った」が 37 名 (67%)、「あまり役に立たなかった」が 12 名 (22%)、「わからない」が 1 名 (2%) であり、総じて有用であると認識している人が 76%で、情報ナビの Web 公開は意義があると感じている人が多いことが分かった。

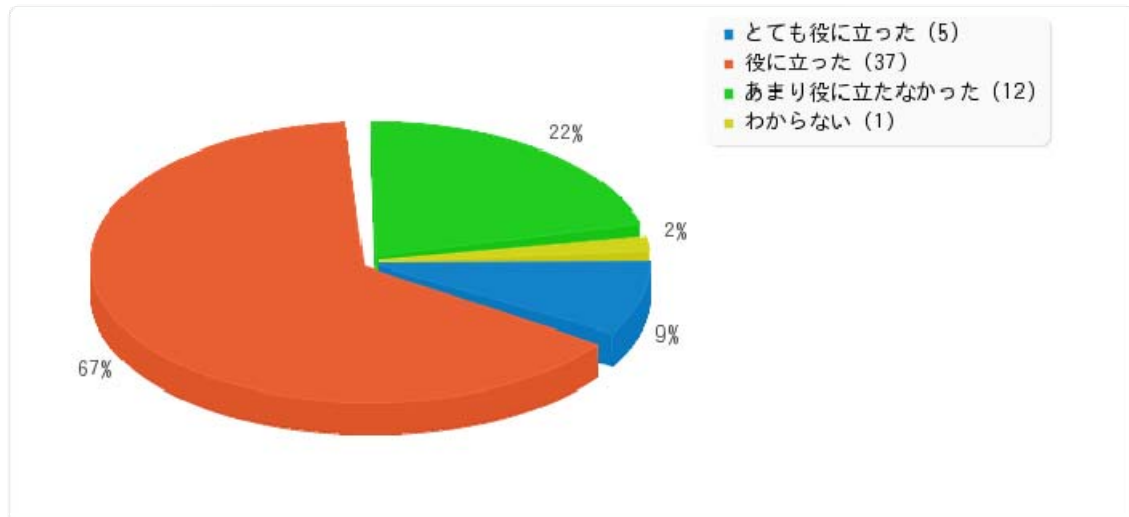


図 11 アクセスしたことがある人からみた有用性

(12) 有用性の有無の理由に関する自由記述

とても役に立った

- ・ 規定や要項等を探して説明するより分かりやすく、伝わりやすかった。(アイコンで一目でわかるなど) 手早く知ることができた。
- ・ 結婚したときの手続きについて、事務職員の方にいろいろと問い合わせるのも煩わしいと思っていたので、「情報ナビ」で効率よく情報を得られたのはとてもよかった。
- ・ 事務の方々に聞かなくても概略がわかるため。
- ・ 知りたい情報があったので。
- ・ 育児に関わる諸制度が調べやすく、規程等を探す前に簡単に確認できたから。

役に立った

- ・ 今まで知らなかったさまざまな情報を知ることができたから。
- ・ 目的の所へたどりつくのに少し時間がかかりましたが役に立った。
- ・ 育休、産休手続きなどについて、事前に知ることが出来たため。
- ・ 知りたい情報がワンクリックで表示されたから。
- ・ 出産、介護に関する制度が簡潔にまとめられている。
- ・ 簡潔で分かりやすいため。
- ・ 人事制度が分かり易く記載されているため。
- ・ 様々な制度があることを知ることができたから。
- ・ 知りたい情報が得られたので。
- ・ イベント情報。
- ・ イベント告知等。
- ・ 読みやすかった。
- ・ 特に理由はない。
- ・ 平易な表現でわかりやすかった。
- ・ 関係する制度についての学外へのリンクが整備されているため。
- ・ 内容が簡潔である。
- ・ 知りたいことがまとめて書かれていた。(書類様式などは学部HPを探して別途アクセスしなければならないのが二手間余計にかかる。)
- ・ 制度・手続きについて、規則から確認するより簡単だから。
- ・ 説明を読んで理解できたから。
- ・ 推進室の活動をより具体的に理解するために、個々の行事を眺めている。
- ・ 知りたいことが見つけられたから。
- ・ 育児に関する情報を得られたから。
- ・ 簡潔に整理されて分かりやすい。
- ・ 必要とする項目内容の概要等を知ることができるとともに、関連項目も確認できる。また、根拠規定を確認する時の手がかりともなる。
- ・ 知りたいことが見られたため。
- ・ いろいろな制度について知ることができた。
- ・ 子育て中の職員への支援内容がわかりやすく記載されている。
- ・ 必要とする具体的情報を入手できるため。
- ・ 情報が分かり易かった。
- ・ 知りたい内容を知ることができたから。
- ・ 知りたいことがだいたいわかったから。
- ・ 情報が豊富&正確。
- ・ 知りたいものは得た。
- ・ 必要な情報を得ることができたため。

あまり役に立たなかった

- ・ インターネットでキーワードを入れて検索するとわかることが多かったから。
- ・ 各種手続きなどはわかりやすく書いているが、実際利用できる体制・雰囲気（たとえば時短勤務など）になっていない、と感じた。
- ・ 結婚、妊娠、出産、介護、のいずれも今のところ差し迫ったイベントではないので、今のところあまり情報を必要とはしていないため。
- ・ 出産や育児に関する情報を充実してほしい。出産・育児休暇に関する手続きを見ていたのですが、結局は、「勤務形態による」ということでよくわかりませんでした。学内からのアクセスに限定してでもいいので勤務形態別（常勤だけでも）、出産や育児をするとどういう処遇になるのかがわかるリンクか何かを作ってもらえるとうれしいです。あと、何か月の休暇で何パーセントの給料が支給されるのか、といった具体的数値例があると助かります。
- ・ 自分の知りたい情報が知っているものだったから。
- ・ 特にないです。
- ・ 具体的な情報に欠けるので、情報が十分といえない。
- ・ 希望するものがなかった。
- ・ 情報がわかりにくい。
- ・ 分かりにくい。

役に立たなかった

- ・ 希望するものがなかった。

(13) 制度や手続き等に関する事前情報把握の必要性

制度や手続き等に関する情報について、担当部署に聞く前に何らかの方法で情報を得ておく必要があるかについて尋ねた。「必要と思う」が416名(94%)、「必要と思わない」が27名(6%)、「わからない」が1名であり、担当部署に聞く前にある程度の情報を得ておく必要があると思う人が圧倒的に多かった。

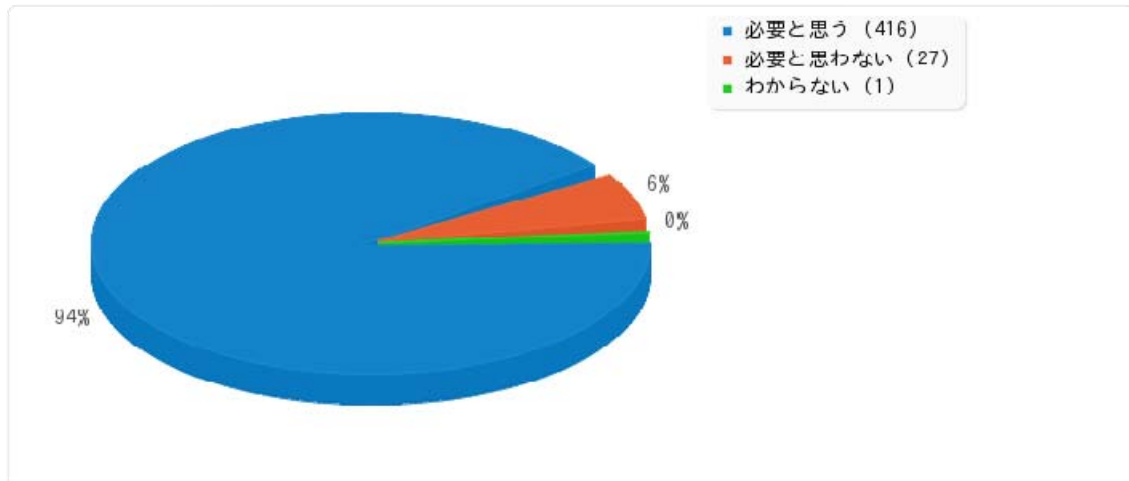


図 12 制度や手続き等に関する事前情報把握の必要性

(14) 情報ナビの活用

事前に情報を把握しておく必要があると答えた人に情報ナビを把握するためのツールとして活用するかについて尋ねた。「ぜひ活用していきたい」が110名(26%)、「少しは活用していきたい」が253名(61%)、「あまり活用しようとは思わない」が46名(11%)、「まったく活用しようとは思わない」が6名(1%)となっており、事前に情報を把握する必要があると答えた人の90%近くが情報ナビを情報を得るためのツールとして活用していきたいと考えていることが分かった。

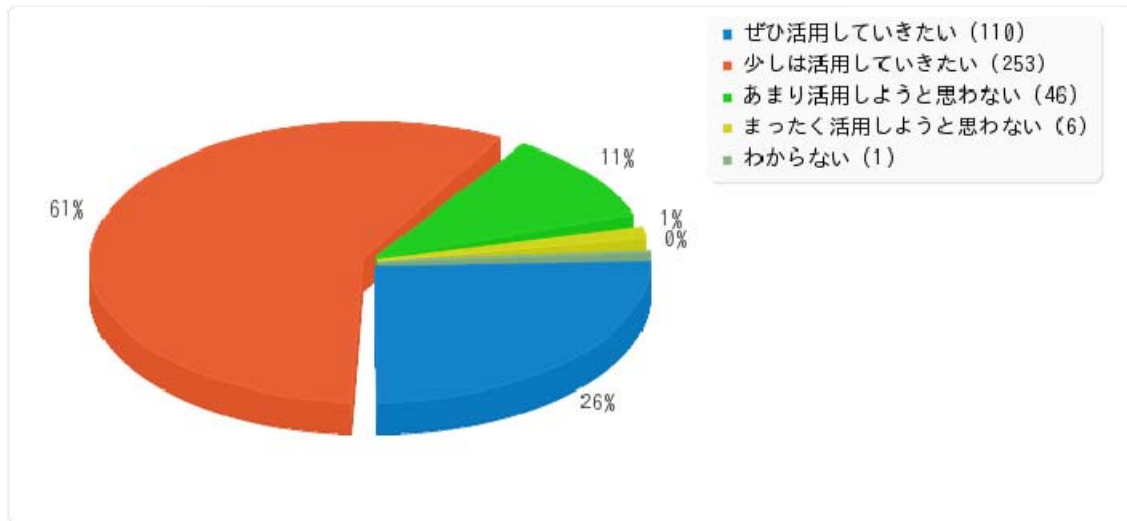


図 13 情報ナビの活用についての意向

(15) 活用しない理由

情報ナビについて、「活用しようと思わない」と回答した人にその理由を複数回答で尋ねた。結果を高い順から見ると、「同僚に聞けば十分だから」が 33 名、「弘前大学や市、県のHPで情報を得ることができるから」が 30 名、「欲しい情報が少ないから」が 9 名、「その他」が 21 名となっている。

自由記述内容を見ると、半数近くの人が、情報ナビを見たことがない、よく理解していないからというように、情報ナビそのものについて認識していない、といった回答をしている。

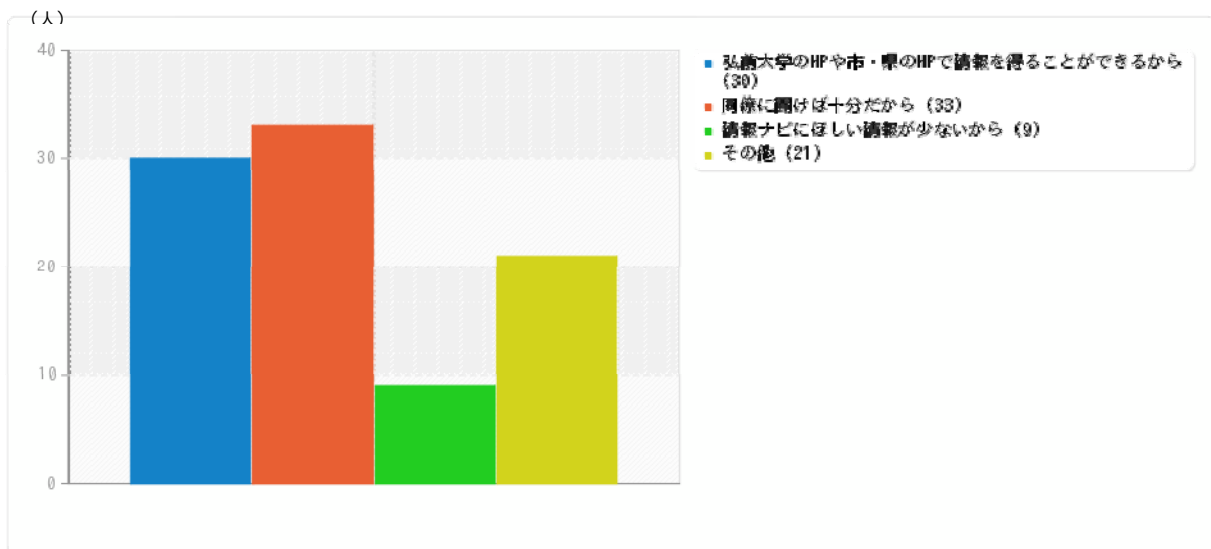


図 14 情報ナビを活用しない理由

(15) 「その他」 活用しない理由について自由記述

- ・ 情報ナビの存在をしらなかったもので、どのような情報があるかわからない。利用するかどうかは使い勝手をチェックしたうえで判断したい。
- ・ 今のところ必要性を感じていないので。
- ・ 必要な情報はググる。(Googleで検索するということ)
- ・ 自分に必要な情報ではないから。
- ・ 見たことがないので判断できません。
- ・ 男女共同参画に興味が無い。
- ・ 使用するメリットがわからないから。
- ・ 規則の最新情報とリンクしていると限らないから。
- ・ 情報ナビ自体がどのようなものか理解していないため。
- ・ 自分にとって、「制度」や「手続き」への関わりが少ないから。
- ・ 具体的な情報の内容を知らないから。
- ・ おおむね身分で適応外の事項となるため。
- ・ どんな情報があるのかすら知らないから。
- ・ 現在の職場(自分及び身の回り)で、男女共同参画にかかわる喫緊の問題が発生していないから。
- ・ 詳しい情報を読んで理解する時間ももったいないから。アクセスする時間ももったいないから。
- ・ 勤務時間中は自分の専門分野の仕事に没頭しているので自分で必要と考えてアクセスする情報源以外には興味がないし、アクセスする時間もない。

(16) 学内制度の情報把握

学内の制度に関する情報はどのように把握しているかについて複数回答で尋ねた。その結果、「弘名」「人事課の担当職員に聞いている」が77名、「その他」25名で、学内のHPを活用している人と、担当者に尋ねる人の数には大きな違いがないことが分かった。

その他の自由記述では、規程・規則集、通知文などで確認するという人が多かった。

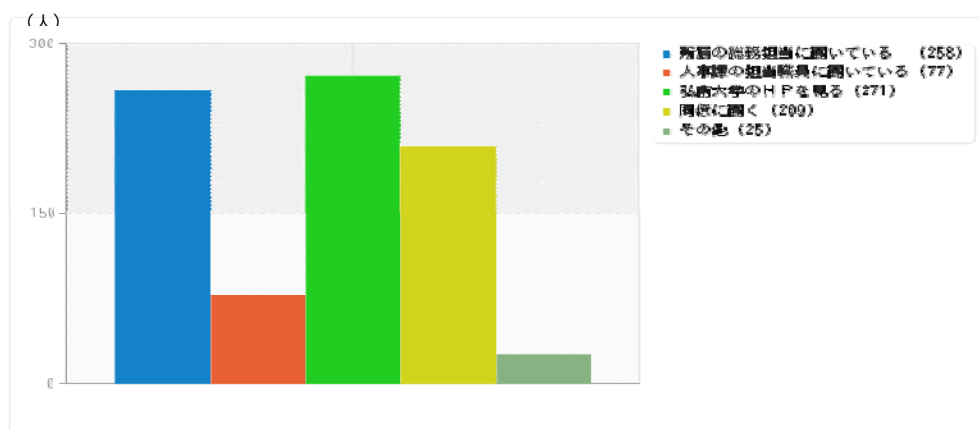


図 15 学内制度の情報把握

(16) 「その他」 学内制度の情報把握についての自由記述

- ・ 規程等を確認してみる。
- ・ 過去の教授会資料や印刷物などで確かめることもある。
- ・ 得たことがない。
- ・ メールで確認。
- ・ 必要な事項を規則集等で調べる。
- ・ 医局秘書に聞く。
- ・ 通知文書を見る。
- ・ 学内の情報に詳しい人を選んで聞く。
- ・ 就業規則等を見る。
- ・ 組合に聞く。
- ・ google 検索。
- ・ 今までの蓄積と根拠規定とに乖離がないか確認しているとともに、学内動向を注視して情報収集している。
- ・ 教室秘書に聞く。
- ・ 自分で調べる。
- ・ 部局のグループウェアにおけるメールや電子掲示板で情報を得ている。
- ・ 学内の通知やメール。
- ・ 「制度」に関する情報であれば「人事課」のみではなく、それぞれの担当部署に聞くと思います。この質問の意図を推測すると「人事に関する制度」と聞くべきです。
- ・ その都度、講座秘書を通じて担当部署の事務職員に問い合わせている。
- ・ 一斉メールなどで。
- ・ 弘前大学規則集をまず調べる。
<http://reiki.jm.hirosaki-u.ac.jp/joureikun-web/cert/login/JC000/Welcome/View.do>
- ・ 冊子体の資料。

(17) 制度の手続き情報把握

学内制度の手続きに関する情報はどのように把握しているかについて複数回答で尋ねた。その結果、「所属の総務担当に聞いている」が304名で最も多く、次いで「弘前大学のHPを見る」が198名となっており、前問の制度情報の把握では「弘前大学のHPを見る」が最も多かったのに対し、手続きについては、実際手続きを行う時に確認をするということもあり、「担当者に聞く」ことが多いものと考えられる。

また、その他の自由記述内容を見ると、自分で調べる、総務担当でない身近にいる人に聞くという内容のものが多く見られた。

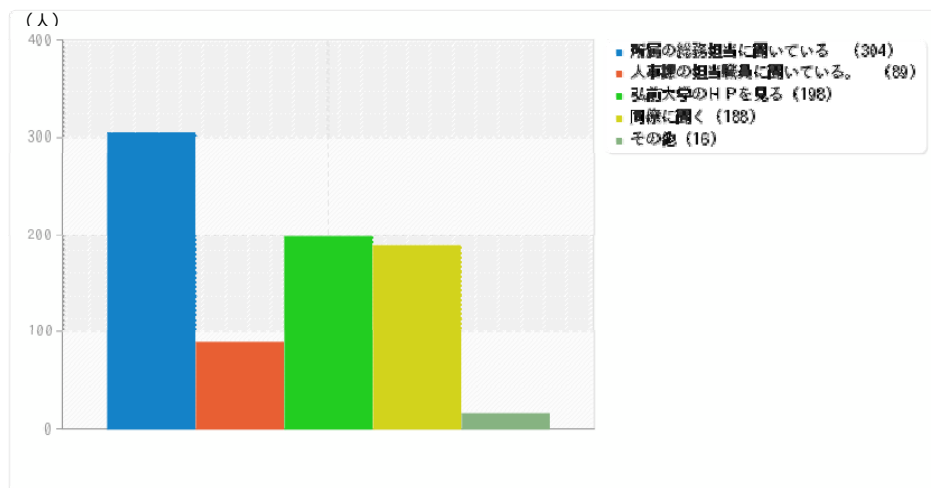


図 16 学内制度の手続き情報の把握方法

(17) 「その他」 学内制度手続きの情報把握についての自由記述

- ・ 凡そ理解している。
- ・ 他部局にまたがる業務の時、当該部局の教職員に。
- ・ メールで確認。
- ・ 得た事がない。(得たことがない)
- ・ 医局秘書に聞く。
- ・ 通知文書を見る。
- ・ 手続きが必要な場合は、今まで蓄積した内容に変更がないか確認している。
- ・ 教室秘書に聞く。
- ・ 自分で調べる。
- ・ 部局のグループウェアにおけるメールや電子掲示板で情報を得ている。
- ・ 「制度」に関する情報であれば「人事課」のみではなく、それぞれの担当部署に聞くと思います。この質問の意図を推測すると「人事に関する制度」と聞くべきです。
- ・ 手続きが必要となった時に、取捨選択して手続きを行っている。
- ・ 法令や取扱を調べる。(HP等で)
- ・ 担当者に問い合わせをする。なぜ人事課？

(18) 地域の子育て情報

地域の子育てに関する情報についてどのように把握しているか複数回答で尋ねた。その結果、「子育ての情報が必要としない」が 209 名であった。把握している人については、多い順に、「市町村の広報誌を見て」が 157 名、「人から聞いて」が 111 名、「新聞やテレビを見て」が 92 名、「市町村のHPを見て」が 84 名、「市町村の窓口」が 25 名となっている。「市町村のHPを見て」という人が相対的に少ないのは意外である。

また、「その他」の自由記述を見ると、インターネットの活用が多かった。

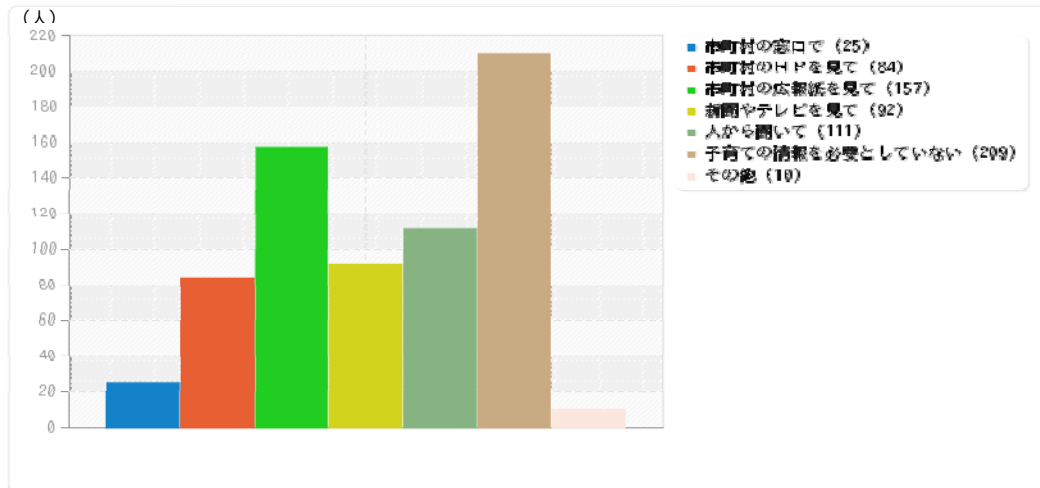


図 17 地域の子育て情報の入手方法

(18) 「その他」 地域の子育て情報把握についての自由記述

- ・ ママ友達や保育園でもらうチラシから。
- ・ 子育ての経験ない。
- ・ 妻に聞く。
- ・ 子供がいないのでまだ考えたことがない。
- ・ 地域と小学校の子供育成委員として。
- ・ インターネット (BWPなど)。
- ・ 市町村HP以外のウェブサイト、SNS。
- ・ インターネット。

(19) 地域の介護情報

地域の介護に関する情報についてどのように把握しているかを複数回答で尋ねた。その結果、介護の情報を必要としないが 235 名であった。把握している人の回答を多い順に見ていくと、「市町村の広報誌を見て」が 131 名、「人から聞いて」が 92 名、「新聞やテレビを見て」が 87 名、「市町村のHPを見て」が 16 名となっており、地域の子育て情報の把握と全く同様の順位を示し、いずれも「市町村の広報誌を見て」という回答が多く、地域の広報誌が情報源として大きな役割を担っていることが確認された。

また、その他の自由記述を見ると、ケアマネージャーや介護施設、ヘルパーなど専門職の人から情報を得ているものが多く、実際に介護サービスを利用している人の記述であることが窺えた。

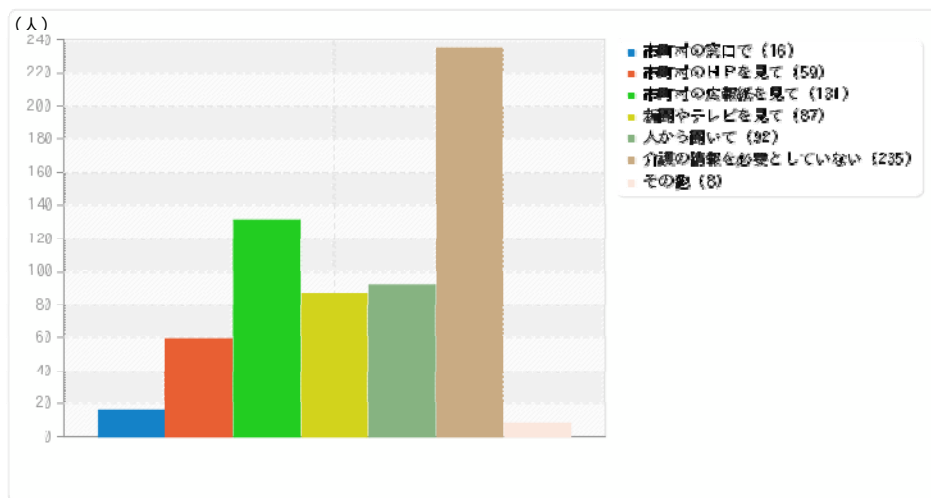


図 18 地域の介護情報の入手方法

(19) 「その他」 地域の介護情報把握についての自由記述

- ・ 知人にケアマネージャーがいて情報を得たり相談している。
- ・ 介護施設から得る。
- ・ 介護ヘルパーさんとコンタクトをとっている。
- ・ 自分で調べている。
- ・ インターネット。

(20) 掲載してほしい情報

今後、情報ナビに掲載してほしい情報について複数回答で尋ねた。その結果、最も多かったのは、「年金、健康保険に関する情報」で、278名であった。次いで多い順に、「人事課が所管する制度に関する情報」が222名、「子どもの養育に関する情報」が177名、「家族の病気に関する情報」が167名、「高齢者や障害者の介護に関する情報」が159名となっている。

また、自由記述では、いろいろなものを幅広くとか、具体的な事例とか、休暇制度を利用した場合の給与額や休暇の限度期間などの内容のものが、直接生活に密着するより細かい情報を望んでいる人がいることが確認された。また、その一方では、わずかではあるが、情報ナビは不要であるという記述もあった。

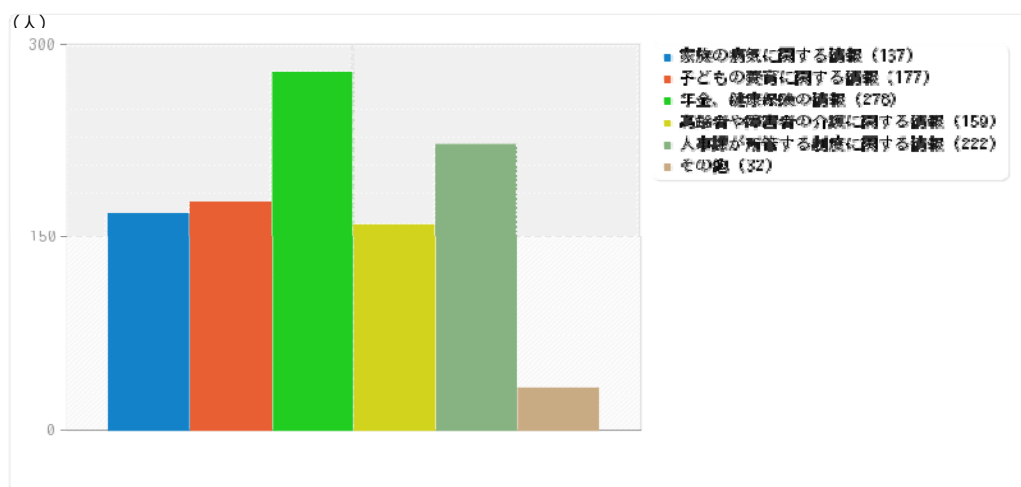


図 19 掲載してほしい情報

(20) 「その他」 掲載してほしい情報についての自由記述

- ・ 不要。
- ・ 他のサイト等で扱っていないもの。具体的にはあげることができないが。
- ・ ありません。
- ・ 具体的な事例の紹介。
- ・ 男女共同参画推進室で必要だと思う情報は全て網羅すべきだと思う。何が必要で何が不必要かは、現時点で扶養者のいない自分には、逆に分からない事の方が多いので。
- ・ 特になし。
- ・ 必要無い。
- ・ 失業手当をスムーズに受け取る方法、職が不安定な若手研究者が困窮しないための情報。(税金の減免、失職すると困ること一覧など)
- ・ 何も望まない。
- ・ 見ていないので、判断できません。

- よくわからない。
- 特になし。
- 現在、自分は必要としていないが、必要とされる方の情報が掲載されるように、より活性化されるように願っています。
- 特になし。
- 青森県の男女共同参画では、障害者の社会参加促進にも関わっているが、学内では、「障害者」についての施策がないようだ。例えば、聴覚に障害を持つ学外の方や職員が会議や学会等に参加する場合の情報保障に関する情報や車いすや視覚障害などの学外の方や職員が学内で不便を感じることなく利用できるための情報など流してもらえるとありがたい。
- 特に充実して欲しいものは今のところない。
- もっといろいろな情報が欲しい。子育てだったら、弘前で子育てしようとしている人がどんな情報が欲しいのか、もっとリサーチしてどんどん載せてほしい。買い物、病院、遊び場、働く母の家事のテクニックや、学校情報、習い事情報、渋滞抜け道情報、ここにすんだら便利よ！などなど、いろいろあるとおもいます。
- 職員向けの対応方法だけでなく、非常勤の場合はどうすれば良いのかを具体的に示してほしい。
- 部署の役割分担があると思います。男女協同参画室は何をやる場所なのか、他で得られない情報を出すべきだと思います。人事課の情報に近いスタンダードなものかもしれませんが、男女教員数、事務職の男女差、昇任、非常勤勤務者の性差、他大学との比較、育児・介護休業の取得状況や新しい取り組みなど。男女で差がなくなったらこの部署は要らないので。男女差がなくならないから実際は存続するのだと思いますが。
- 県や市の催事。
- 興味が無い。
- 具体的に休暇制度を利用した場合の給与額、休暇限度期間などを、条件を入力することによって、シミュレーションできるようになると非常に便利かと思います。
- 学内・病院手続きに関する情報及び方法、担当部署等を明確に説明するサイトを希望します。
- 何か起きた際の対処法として ドクターハートの方法。
- 大学及び病院内での情報を平等に知る権利があると思います。現在、大学側と病院側と別々に送られて同じ情報を一本化する等。
- 今後もあまり利用することはないと思うので、とくに充実させて欲しいと考える項目はありません。

3. まとめ

平成 23 年 11 月に Web 公開した情報ナビについて、実施後の効果や今後の情報ナビの充実を図る観点から、意識調査を行った。情報ナビの認知度は、公開後 8 か月目での意識調査ということもあり、十分とは言えない状況である。認知度を高めるためには、今後、周知の徹底と方法についてさらに検討する必要があると考える。

さまざまなジャンルの情報を入手する必要性については、多くの職員が認識しており、情報ナビをそのツールとして活用したいと思っている割合が 90% 近くを占めていることから、情報ナビの公開については今後も継続しつつ、教職員の仕事と家庭のより良いバランスを実現できるよう、今回の意識調査の結果を踏まえ、必要とする情報のより一層の充実を図る必要がある。

調査にあたっての事前の予測と大きく異なっていたのは、地域の情報に関する入手方法であった。それはパソコンが普及している環境にありながら、HP よりも紙媒体の広報誌によるものが多いということである。こうした実態の把握は、周知の方法について考えるうえでも参考となるものである。